

4月11日の淀川部会を傍聴致しました。近畿地方整備局では、「琵琶湖・淀川流域圏の再生画」として「水辺をつなぐ」、「水辺の拠点を整備する」など7項目の戦略が報告されており、淀川から三川合流周辺での舟運計画等についての記載がありました。

さて、淀川流域委員会では「平成16年度事業の進捗点検についての意見書・案」2005122の中間とりまとめの中の利用-14、5,5,3では、「舟運の復活計画については、環境への影響が大きく、モニタリングが十分になされているのか今回の報告では不明である」としています。

淀川鳥獣保護区や三川合流周辺の「桂川冬鳥集団飛来地・京都府」等には、環境面において十分に配慮し、適正なモニタリングの実施（時期や回数）と、その結果報告について期待致します。